聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、 または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定(データ固定)している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名 PCAPS(患者状態適応型バス)による言語リハの見える化への取り組み― 失語症コンテンツの作成―	_ さませんので、こ」承ください。	
(2) 実施予定期間	① 研究課題名	PCAPS(患者状態適応型パス)による言語リハの見える化への取り組みー
・2024年3月1日~2024年4月30日に聖マリア病院に入院し脳血管疾患に対し言語リハビリテーションを受けられた失語症患者様。・2023年4月1日~2024年3月31日に聖マリア病院に入院し脳血管疾患に対し言語リハビリテーションを受けられた失語症患者様のうち聖マリアヘルスケアセンターに転院された患者様。※本研究は言語聴覚士が使用する評価に関する調査研究ですが、上記期間に該当する患者様のリハビリテーションの内容を使用します。・2024年3月1日~2024年4月30日・2023年4月1日~2024年3月31日 社会医療法人雷の聖母会 聖マリア病院聖マリアヘルスケアセンター ⑤ 研究機関の名称 ② 研究機関の名称 ② 研究責任者 氏名 中島栄子 所属 リハビリテーション科 ② 研究責任者 氏名 中島栄子 所属 リハビリテーション科 ② 研究責任者 (多 使用する資料等 ・言語聴覚士が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリテーションの内容 ② 研究の概要 PCAPS (患者状態適応型パス)による言語リハビリテーションコンテンツの構築及び、その有用性を検討します。・ 非細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 「新集の公表 「知究計画書等の関策等に支障がない範囲内で入手又は関策できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 「動きないます。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		失語症コンテンツの作成ー
管疾患に対し言語リハビリテーションを受けられた失語症患者様。 ・2023年4月1日~2024年3月31日に聖マリア病院に入院し脳血管疾患に対し言語リハビリテーションを受けられた失語症患者様のうち聖マリアヘルスケアセンターに転院された患者様。 ※本研究は言語聴覚士が使用する評価に関する調査研究ですが、上記期間に該当する患者様のリハビリテーションの内容を使用します。 ・2024年3月1日~2024年4月30日・2023年4月1日~2024年3月31日 位 対象期間 ・2024年3月31日 ・2024年3月31日 ・2023年4月1日~2024年3月31日 ・2023年4月1日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~2023年3日~20	② 実施予定期間	承認後~2027年3月31日
*2023年4月1日~2024年3月31日に聖マリア病院に入院し脳血管疾患に対し言語リハビリテーションを受けられた失語症患者様のうち聖マリアヘルスケアセンターに転院された患者様。※本研究は言語聴覚士が使用する評価に関する調査研究ですが、上記期間に該当する患者様のリハビリテーションの内容を使用します。 *2024年3月1日~2024年4月30日・2023年4月1日~2024年3月31日 *2023年4月1日~2024年3月31日 *2023年4月1日~2024年3月31日 *社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 聖マリアヘルスケアセンター 聖マリアヘルスケアセンター・リハビリテーション科 *(す) 研究責任者 氏名 中島栄子 所属 リハビリテーション室 診療情報等より下記事項を調査します。 ・言語聴覚士が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリテーションの内容 PCAPS (患者状態適応型パス)による言語リハビリテーションコンテンツの構築及び、その有用性を検討します。 ・清語聴覚士が行なった言語リハビリテーションは閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 「研究計画書等の問題等の問題を表現します。研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報を保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 「他人情報の保護を表現します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		・2024年3月1日~2024年4月30日に聖マリア病院に入院し脳血
(3) 対象患者 管疾患に対し言語リハビリテーションを受けられた失語症患者様のうち 聖マリアヘルスケアセンターに転院された患者様。 ※本研究は言語聴覚士が使用する評価に関する調査研究ですが、上記期間 に該当する患者様のリハビリテーションの内容を使用します。 ・2024年3月1日~2024年4月30日・2023年4月1日~2024年3月31日 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 聖マリア病院 聖マリア病院 聖マリア内ルスケアセンター ジ象診療科 聖マリアヘルスケアセンター:リハビリテーション科 で 研究責任者 氏名 中島栄子 所属 リハビリテーション科 で 研究責任者 氏名 中島栄子 所属 リハビリテーション 診療情報等より下記事項を調査します。 ・言語聴覚士が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリテーションの内容 PCAPS (患者状態適応型パス)による言語リハビリテーションコンテンツの構築及び、その有用性を検討します。 研究計画書等の関 覧等 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		管疾患に対し言語リハビリテーションを受けられた失語症患者様。
聖マリアヘルスケアセンターに転院された患者様。 ※本研究は言語聴覚士が使用する評価に関する調査研究ですが、上記期間に該当する患者様のリハビリテーションの内容を使用します。 ・2024年3月1日~2024年4月30日・2023年4月1日~2024年4月30日・2023年4月1日~2024年3月31日 ・2023年4月1日~2024年3月31日 ・2023年4月3日 ・2023年3月3日 ・2023年3日 ・2023年3月3日 ・2023年3日	③ 対象患者	・2023年4月1日~2024年3月31日に聖マリア病院に入院し脳血
※本研究は言語聴覚士が使用する評価に関する調査研究ですが、上記期間に該当する患者様のリハビリテーションの内容を使用します。 ・2024年3月1日~2024年4月30日・2023年4月1日~2024年3月31日 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 聖マリア病院 聖マリア病院 ジ療所科 聖マリア病院 : 脳血管内科・脳神経外科 聖マリアヘルスケアセンター: リハビリテーション科		管疾患に対し言語リハビリテーションを受けられた失語症患者様のうち
(主該当する患者様のリハビリテーションの内容を使用します。		聖マリアヘルスケアセンターに転院された患者様。
 ② 対象期間 ・2024年3月1日~2024年4月30日 ・2023年4月1日~2024年3月31日 ⑤ 研究機関の名称 ② 型マリア病院 聖マリアへルスケアセンター ⑥ 対象診療科 聖マリアへルスケアセンター: リハビリテーション科 ② 研究責任者 (5) 医名 中島栄子 所属 リハビリテーション科 ② 研究責任者 氏名 中島栄子 所属 リハビリテーション室 ジ療情報等より下記事項を調査します。 ・言語聴覚土が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリテーションの内容 (6) 研究の概要 (7) 研究の概要 (8) 使用する資料等 (9) 研究の概要 (9) 研究の概要 (10) 研究計画書等の関 覧等 (11) 研究計画書等の関 関等 (12) 研究の大きなは関係できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 (13) 結果の公表 (14) 対象診療科 学会や論文等で発表いたします (15) 個人情報の保護 (16) 個人情報の保護 (17) 個人情報の保護 (18) 個人情報の保護 (19) 個人情報の保護 (10) 個人情報の保護 		※本研究は言語聴覚士が使用する評価に関する調査研究ですが、上記期間
 ・2023年4月1日~2024年3月31日 ・6の研究機関の名称 セ会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 聖マリアへルスケアセンター ・対象診療科 聖マリア病院: 脳血管内科・脳神経外科 聖マリアヘルスケアセンター: リハビリテーション科 ・6の研究責任者 氏名 中島栄子 所属 リハビリテーション率 ・診療情報等より下記事項を調査します。 ・言語聴覚士が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリテーションの内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		に該当する患者様のリハビリテーションの内容を使用します。
 ・2023年4月1日~2024年3月31日 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 聖マリアヘルスケアセンター ⑥ 対象診療科 聖マリア病院: 脳血管内科・脳神経外科 聖マリアヘルスケアセンター: リハビリテーション科 ⑦ 研究責任者 氏名 中島栄子 所属 リハビリテーション室 診療情報等より下記事項を調査します。 ● 言語聴覚士が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリテーションの内容 ⑨ 研究の概要 PCAPS (患者状態適応型パス)による言語リハビリテーションコンテンツの構築及び、その有用性を検討します。 研究計画書等の閲覧等 版で知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 ① 結果の公表 ② 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。 	④ 対象期間	• 2024年3月1日~2024年4月30日
 ⑤ 研究機関の名称 ② 対象診療科 聖マリア病院:脳血管内科・脳神経外科 聖マリアヘルスケアセンター:リハビリテーション科 ⑦ 研究責任者 氏名 中島栄子 所属 リハビリテーション室 診療情報等より下記事項を調査します。 ・言語聴覚士が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリテーションの内容 ⑨ 研究の概要 PCAPS(患者状態適応型パス)による言語リハビリテーションコンテンツの構築及び、その有用性を検討します。 研究計画書等の閲覧等 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 ① 結果の公表 学会や論文等で発表いたします 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。 		•2023年4月1日~2024年3月31日
聖マリアヘルスケアセンター ② 対象診療科 ② 研究責任者 ② 中島栄子 ② 研究の概要 ② 研究の概要 ③ 研究計画書等の関 覧等 ② 研究計画書等の関 覧等 ② 個人情報の保護 ② 個人情報の保護 ② 個人情報の保護 ② 個人情報の保護 ② 個人情報の保護 ② 個人情報の保護 ② 関マリアヘルスケアセンター:リハビリテーション科 ② アレスケアセンター:リハビリテーション科 ③ アルビリテーション室 ③ アルビリテーション評価結果、言語リハビリテーションアン ② 研究の概要 ② 研究の概要 ② 研究の概要 ② 研究が表に関する資料を他の研究対象者等の個人情報 及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細 な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 ③ は果の公表 ② 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定 につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」 と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情 報は使用しません。	⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院
 図 対象診療科 型マリアヘルスケアセンター: リハビリテーション科 ① 研究責任者 (長名 中島栄子 所属 リハビリテーション室 診療情報等より下記事項を調査します。 ・言語聴覚士が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリテーションの内容 9 研究の概要 PCAPS (患者状態適応型パス) による言語リハビリテーションコンテンツの構築及び、その有用性を検討します。 研究計画書等の閲覧等 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 ① 結果の公表 図 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。 		聖マリアヘルスケアセンター
 型マリアヘルスケアセンター: リハビリテーション科 ① 研究責任者 氏名 中島栄子 所属 リハビリテーション室 診療情報等より下記事項を調査します。 ・言語聴覚士が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリテーションの内容 9 研究の概要 PCAPS (患者状態適応型パス)による言語リハビリテーションコンテンツの構築及び、その有用性を検討します。 研究計画書等の閲覧等 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 10 結果の公表 学会や論文等で発表いたします 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。 	⑥ 対象診療科	聖マリア病院:脳血管内科・脳神経外科
② 使用する資料等 お療情報等より下記事項を調査します。 ・言語聴覚士が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリテーションの内容 PCAPS(患者状態適応型パス)による言語リハビリテーションコンテンツの構築及び、その有用性を検討します。 研究計画書等の閲覧等 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 付 結果の公表 学会や論文等で発表いたします 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		聖マリアヘルスケアセンター:リハビリテーション科
 ⑧ 使用する資料等 ・言語聴覚士が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリテーションの内容 ⑨ 研究の概要 PCAPS(患者状態適応型パス)による言語リハビリテーションコンテンツの構築及び、その有用性を検討します。 研究計画書等の閲覧等 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 付 結果の公表 学会や論文等で発表いたします 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。 	⑦ 研究責任者	氏名 中島栄子 所属 リハビリテーション室
テーションの内容 PCAPS (患者状態適応型パス) による言語リハビリテーションコンテンツの構築及び、その有用性を検討します。 研究計画書等の閲覧等 研究計画書等の閲覧等 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 学会や論文等で発表いたします 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。	⑧ 使用する資料等	診療情報等より下記事項を調査します。
PCAPS (患者状態適応型パス)による言語リハビリテーションコンテンツの構築及び、その有用性を検討します。 研究計画書等の閲覧等 研究計画書等の問題を 研究計画書等の問題を の研究が研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 (1) 結果の公表 学会や論文等で発表いたします 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		・言語聴覚士が行なった言語リハビリテーション評価結果、言語リハビリ
② 研究の概要 ツの構築及び、その有用性を検討します。 研究計画書等の閲覧等 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 学会や論文等で発表いたします 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		テーションの内容
ツの構築及び、その有用性を検討します。 「印究計画書等の問覧等 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 「日本の公表 学会や論文等で発表いたします 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。	⑨ 研究の概要	PCAPS(患者状態適応型パス)による言語リハビリテーションコンテン
(1) 研究計画書等の閲覧等 及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 学会や論文等で発表いたします 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		ツの構築及び、その有用性を検討します。
(1) 研究計画書等の閲覧等 及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 (1) 結果の公表 学会や論文等で発表いたします 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報
第等 な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 ① 結果の公表 学会や論文等で発表いたします ② 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
① 結果の公表 学会や論文等で発表いたします 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。	⑪ 結果の公表	
② 個人情報の保護 につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
(2) 個人情報の保護 と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
報は使用しません。		
	③ 知的財産権	聖マリア病院に属します

⑭ 研究の資金源	なし
15 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改
	めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。
① 問い合わせ先・	聖マリア病院 リハビリテーション室 中島栄子
相談窓口	電話 0942-35-3322